

## 要請番号 (JL63025B09)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モザンビーク	G158 理科教育	20～45歳のみ	個別	交替4代目	2年	・2026/2・2026/3・2027/1



### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名 (日本語)

教育文化省

#### 2) 配属機関名 (日本語)

シフト中等教育学校

#### 3) 任地 (ガザ州シフト) JICA事務所の所在地 (マプト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 4.0 時間)

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は公立の中等教育学校で、7～12年生(日本の中学1年～高校3年に相当)の生徒約3,200名が学んでいる。職員数は110名で、午前・午後・夜間の3部制で授業が実施されている。校舎は市街地に位置し、管理棟と、教室、ICT教室、図書館、理科の実験室などのある教室棟に分かれている(教室不足のため、現在は特別教室も一般教室として使用)。体育館(屋根付)、サッカーグラウンドが整備され、課外活動にも積極的に取り組んでいる。初代のJICA海外協力隊員(数学教育:2015年～2017年)に続いて、2025年8月まで2代目、3代目のJICA海外協力隊員(理科教育)が活動していた。

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

モザンビークでは初等教育卒業生の増加に伴い、中等教育への就学率が年々増加傾向にあるが、理数科目の低学力が課題となっている。その原因として、初等教育における生徒の基礎学力の不足、座学が中心で実験等の授業がほとんど行われていないことなどが挙げられる。そうした問題を認識したうえで化学の授業を担当し、生徒の授業理解と化学への好奇心を喚起する活動を行うことを目的にJICA海外協力隊員の要請が出された。担当学年は着任後に要相談となるが、教員に対して日本の理数科教育の知見を日々の活動やワークショップの開催を通して伝え、授業の質を改善する働きかけが求められている。

#### 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

関係者と対話し、必要に応じ柔軟に内容を変更しながら以下の活動を行う。

1. 同僚とともに化学の授業計画を策定する。
2. 学習者主体の化学の授業を行う。また、補講や試験対策を行う。
3. 試験監督を担当し、採点および、成績管理を行う。
4. 学校事務(PCを使った成績の処理等)を支援する。

#### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プリンターなど

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】  
校長:男性 40代、カウンターパート:男性 30代  
教員・職員数:110名(教員の職歴平均は10年)

【活動対象者】  
学生:3,200名

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
ポルトガル語	ポルトガル語	言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（中学校又は高等学校教諭（理科））	[学歴]：（大卒） 備考：同僚と同程度の学歴
[性別]：（            ） 備考：	[経験]：（教員経験）2年以上 備考：同僚と同レベルが求められるため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（10～40℃位）	[電気]：（不安定）
[通信]：（インターネット可      電話可）	[水源]：（不安定）

【特記事項】

【類似職種】